



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 パシフィックシステム株式会社  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-svstems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久保 永史  
 (氏名) 小林 和重

TEL 048-845-2200

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,541	△19.7	43	—	47	—	32	—
27年3月期第2四半期	4,409	18.8	△4	—	0	—	0	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 36百万円 (91.2%) 27年3月期第2四半期 18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.96	—
27年3月期第2四半期	0.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,404	3,395	62.8
27年3月期	5,939	3,456	58.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,395百万円 27年3月期 3,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,616	△2.4	393	3.1	397	0.1	254	3.8
								171.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	1,480,000 株	27年3月期	1,480,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	287 株	27年3月期	211 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	1,479,755 株	27年3月期2Q	1,479,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さが見られるものの総じて企業収益の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られ、回復基調が続きました。一方、世界経済は、アジア新興国等で弱さがみられるものの、欧州や米国の景気回復が続くなど緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、緩やかな回復傾向が続きました。

このような状況のもと、当社グループは17中期経営計画(2015年度～2017年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売が減少したため、3,541百万円(前年同期比19.7%減収)となりました。損益につきましては販売費及び一般管理費は増加しましたが売上原価が低下し、営業利益43百万円(前年同期は4百万円の営業損失)、経常利益47百万円(前年同期は経常利益0百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高は機器販売及びパッケージ販売が減少し、679百万円(前年同期比21.9%減収)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、17百万円の利益(同66.1%減益)となりました。

#### ②ソフトウェア開発

売上高は前期に大型案件の売上があったこと等により減収となり、476百万円(同44.4%減収)となりました。セグメント損益は不採算案件の収束により売上原価が低下したため、55百万円の利益(前年同期は74百万円の損失)となりました。

#### ③システム販売

売上高は前期にインフラサービスで大型案件の売上計上があったほか、画像処理システム、生コンプラント向け操作盤及び自社パッケージ販売等が減少したため、949百万円(同26.4%減収)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、47百万円の利益(同58.4%減益)となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高は1,451百万円(同1.3%増収)となりました。セグメント損益は売上原価の低下により、376百万円の利益(同11.8%増益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.2%減少し、3,020百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が508百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、2,384百万円となりました。これは、主に建物及び構築物が24百万円、無形固定資産が27百万円、有形固定資産その他に含まれている建設仮勘定が9百万円、有形固定資産その他に含まれている工具器具及び備品が6百万円減少したものの、有形固定資産その他に含まれている賃貸資産が45百万円、有形固定資産その他に含まれているリース資産(有形)が30百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、5,404百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.9%減少し、1,615百万円となりました。これは、主に買掛金が237百万円、流動負債その他に含まれている未払消費税等が170百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.2%減少し、392百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれている長期前受収益が31百万円増加したものの、固定負債その他に含まれている長期未払金が84百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19.1%減少し、2,008百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、3,395百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を32百万円計上したものの、株主配当金の支払が96百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	979,269	700,537
受取手形及び売掛金	1,495,226	987,009
リース投資資産	370,305	429,133
商品及び製品	103,531	108,480
仕掛品	264,019	499,510
原材料及び貯蔵品	29,515	26,729
その他	322,186	269,485
貸倒引当金	△725	△798
流動資産合計	3,563,329	3,020,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	746,632	721,743
土地	532,744	532,744
その他(純額)	357,052	415,621
有形固定資産合計	1,636,429	1,670,110
無形固定資産	233,936	206,272
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	242,835	246,297
その他	265,662	263,791
貸倒引当金	△2,371	△2,408
投資その他の資産合計	506,126	507,680
固定資産合計	2,376,492	2,384,063
資産合計	5,939,821	5,404,150
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	730,942	492,998
1年内返済予定の長期借入金	94,959	48,243
未払費用	210,890	232,642
未払法人税等	-	13,624
賞与引当金	284,922	314,686
受注損失引当金	647	2,816
アフターコスト引当金	72,120	22,649
その他	647,065	487,912
流動負債合計	2,041,546	1,615,574
固定負債		
長期借入金	3,294	-
その他	438,838	392,692
固定負債合計	442,132	392,692
負債合計	2,483,678	2,008,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	2,394,530	2,330,840
自己株式	△306	△462
株主資本合計	3,412,045	3,348,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,563	86,622
退職給付に係る調整累計額	△40,466	△38,937
その他の包括利益累計額合計	44,097	47,685
純資産合計	3,456,142	3,395,884
負債純資産合計	5,939,821	5,404,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,409,135	3,541,182
売上原価	3,701,575	2,770,835
売上総利益	707,559	770,347
販売費及び一般管理費	712,108	726,746
営業利益又は営業損失(△)	△4,548	43,601
営業外収益		
受取利息	93	110
受取配当金	1,946	2,006
受取手数料	1,083	1,064
受取保険料	3,280	286
補助金収入	2,905	4,499
その他	2,503	1,248
営業外収益合計	11,812	9,215
営業外費用		
支払利息	2,038	1,220
売上割引	2,922	2,199
シンジケートローン手数料	1,393	1,402
その他	501	224
営業外費用合計	6,855	5,046
経常利益	407	47,769
特別利益		
固定資産売却益	1,915	-
投資有価証券売却益	1,200	-
特別利益合計	3,115	-
特別損失		
固定資産売却損	307	-
固定資産除却損	98	19
特別損失合計	405	19
税金等調整前四半期純利益	3,118	47,750
法人税等	3,097	15,254
四半期純利益	20	32,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	20	32,496



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	20	32,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,063	2,058
退職給付に係る調整額	2,790	1,529
その他の包括利益合計	18,853	3,587
四半期包括利益	18,874	36,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,874	36,084
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,118	47,750
減価償却費	152,209	154,857
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,403	29,763
受注損失引当金の増減額(△は減少)	17,096	2,169
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	4,795	△49,470
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1,656	△1,184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	373	109
受取利息及び受取配当金	△2,040	△2,116
支払利息	2,038	1,220
固定資産売却損益(△は益)	△1,608	-
固定資産除却損	98	19
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,200	-
売上債権の増減額(△は増加)	702,188	508,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	226,845	△237,652
リース投資資産の増減額(△は増加)	△2,756	△58,828
その他の資産の増減額(△は増加)	21,369	5,109
仕入債務の増減額(△は減少)	△388,911	△242,108
未払消費税等の増減額(△は減少)	63,219	△170,208
その他の負債の増減額(△は減少)	△255,609	△38,404
小計	548,287	△50,757
利息及び配当金の受取額	2,040	2,116
利息の支払額	△1,990	△1,172
法人税等の支払額	△68,450	△10,274
法人税等の還付額	36	54,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,922	△5,304
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,460	△36,642
有形固定資産の売却による収入	22,766	-
無形固定資産の取得による支出	△43,222	△38,788
投資有価証券の売却による収入	2,200	-
敷金及び保証金の差入による支出	△666	△502
敷金及び保証金の回収による収入	292	266
その他	332	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,758	△75,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△50,010	△50,010
リース債務の返済による支出	△72,936	△51,088
自己株式の取得による支出	△34	△156
配当金の支払額	△88,788	△96,186
その他	-	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,769	△197,619
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	215,395	△278,732
現金及び現金同等物の期首残高	419,023	979,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	634,418	700,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	870,174	838,210	1,282,707	1,418,042	4,409,135	—	4,409,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19,031	7,046	14,373	40,451	△40,451	—
計	870,174	857,242	1,289,753	1,432,415	4,449,586	△40,451	4,409,135
セグメント利益又は損失(△)	51,581	△74,596	113,312	336,760	427,057	△431,606	△4,548

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△431,606千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等  
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	679,336	475,288	939,832	1,446,724	3,541,182	—	3,541,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,467	9,197	4,512	15,176	△15,176	—
計	679,336	476,755	949,029	1,451,237	3,556,359	△15,176	3,541,182
セグメント利益	17,472	55,679	47,128	376,414	496,695	△453,094	43,601

(注) 1 セグメント利益の調整額△453,094千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等  
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。